



# 佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを  
祝おう

100年の歩み

会 長：林 厚 雄	会 計：柳田光寛
副 会 長：岩切正司	会報委員長：宮原建樹
幹 事：藤堂孝一	

2004-2005 年度R1テーマ

第 878 回 平成 17 年 4 月 13 日 (水)

## 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング  
「手に手つないで」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 会 員 卓 話
8. 点 鐘

第 876 回の記録 平成 17 年 3 月 30 日 (水)

☆会長の時間 会長 林 厚雄 君

今日は例会場変更でこのハイビスカスゴルフクラブをお借りしました。

先日、3月20日に鹿児島で開催されました情報委員長会に委員長の中武さんと出席してきました。

「国際ロータリーの現状について」と題して南園義一国際ロータリー理事の講演でした。

内容としましては現在の国際ロータリー・日本のロータリーの現状また、規定審議会の考え方、将来のプログラムや活動方法などを中心に講演されました。詳しくはこの後に中武情報委員長に話していただきます。

26日の高鍋で開催されましたI・Mに参加された方はご苦労様でした。全般的に参加された方が少なかったのが残念でした。高鍋クラブも一生懸命準備をされたと思います。I・Mはロータリークラブの身内のお互いの勉強会ですから段取りをするクラブの事も少しは考えていただきたいと思います。

テーマは、ロータリー100周年「家族と奉仕の原点を考える」で3クラブの家族委員会の委員の事例報告がありました。その後「石井のおとうさんあ

りがとう」の題名で、医者になる夢を捨てて孤児救済に捧げた石井十次の生涯の映画が上映されましたが、幾つかの場面で私も久しぶりに泣かされました。数名の会員の奥様方も参加されていましたが、感動されたことと思います。まだロータリーも発足する10年前に日本では高鍋出身の石井十次先生が岡山市で孤児院を作り親のない子供たちを受け入れていました。まさにロータリーの精神である奉仕の原点だと思えます。素晴らしいI・Mでした。高鍋クラブに感謝いたします。

家族委員会の目的は、ロータリーの綱領の第一項である“奉仕の機会として知り合いを広めること”を遂行するために、クラブや地区を支援し、ロータリーの理想を達成することにあります。そのため、家族委員会の任務は極めて具体的に指示されており、家族のみんなにきめ細かい配慮をするよう奨めています。そして更に輪を広げて、インターアクトやローターアクト等の青少年にまで家族同様の配慮をし、更に、私たちの住んでいる地域社会や国際社会へこの概念を広げ、地球家族として、ロータリーの究極の目的である世界平和を達成しようという考え方が窺われます。家族の問題は社会全体の問題であり、ロータリー活動の基本問題です。心のこもった人間としての温かいふれあいのある家庭、家族、生き生きとして活力のある社会、お互いの文化や宗教を認め合った平和な世界を目指して、ロータリー活動を活発に行うことが望まれています。



例会場：石崎浜荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255 齊藤美喜代  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788

5月18日、ゲスト卓話、阿南さん

幹事報告 幹事 藤堂孝一 君

- 例会変更通知  
宮崎西クラブ 4月8日(金)  
創立45周年記念例会祝賀会の為  
18:30 シーガイアサミットホール  
宮崎南クラブ 4月4日(月)  
観桜会の為  
18:30 ホテルプラザ宮崎
- 4月2日  
佐土原特産祭りの準備を 8時30分から始めますので参加できる方はよろしくお願ひします。
- 宮崎南クラブの95歳の阿南さんから、当佐土原クラブに訪問させてほしいとの相談がありましたので理事会にかけ日程の調整をしたいと思ひます。
- 4月6日の例会は振り替え休会とします。

え方にズレがありロータリーセンターができたそうです。規定審議会の現状と考え方では、ロータリー活動はクラブに在るといふことしきりに示された事が素晴らしい事だ。約600の議案を受付、470の件を審議されその内100の項目が決議されたとの事です。ロータリー財団のプログラム活動においてはここ3年で落ち込んでいます。あらゆる投資をしてきましたが、思うようには事は運びませんでした。600人の議員を半分にしました。200億ドルは有意義に使うということを挙げられました。ロータリーの将来の考え方については、現在新・旧の会員意識のギャップありうまく溶け合えよくなるが、どちらかに片寄ると会員がやめていくケースが見受けられる。そこを、地区リーダーシッププランは現在ではうまくつながっているようです。ガバナー補佐の仕事はいかにクラブを活性化するように波及させていくかが問われている。次年度のRI会長ステンハマ氏のテーマは(超我の奉仕)を目的としている。人を大切に、ひとを人を育て、すみよい社会を創る事、もちろん自分もこの中に居ることは忘れてはいけない。

出席報告 出席委員長 梶田與之助 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	17名
出 席 率	59%
メークアップ者数	6名
修正出席率	79%
欠 席 者 数	

これからのロータリー活動計画について、まず四大奉仕は基本に考えてクラブ運営し易いようにして、会員増強委員会(会員組織)会員の勧誘と退会防止は包括的な計画をあて実施するクラブ子法委員会一般の人にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を推進する。クラブ管理運営委員会クラブの効果的な運営に関連する活動を計画実施する。奉仕プロジェクト委員会地元地域社会においち、また他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的及び職業的プロジェクトを企画実施するロータリー財団委員会資金的寄付プログラムへの参加を健闘して欲しいということでした。これからの、ロータリーのあり方について語られました。国際大会の余剰金一億円をRIに上納されたということです。

会員卓話 情報委員長 中武幹雄 君

17年3月20日(日)14:00~15:30  
情報委員会が鹿児島県のステーションホテルで開催され、林会長と出席しました。その中で、南園義一ロータリー理事を迎えての講演会がありました。話の中で、日本ロータリーの現状は、1990年から見た会員数は現在▲15%になっている事、そして全世界でもマイナスに成っているそうです。ロータリー理解していないまま活動しているクラブが在ると思われる。数が質かどちらも捨て難い問題ですが、思いやりの心を持って自分がしてほしい事を相手にしてあげる事が大事である。コリンズのテーマで(奉仕第一・自己が第二)と敬称しています。その事は、思いやりの心を持っていかにかかわり合うかということ、相手と対等な立場で、1990年にロータリーの大学を造ろうとあったがいろいろあり考

次 回 予 告

☆ 4月20日(水)  
ロータリー情報

☆ 4月27日(水)  
フォーラム  
「ロータリー雑誌月間にあたって」

- 四つのテスト
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか